

平成29年度議会報告会・意見交換会での町民からの意見・要望(三保地区)

地区	意見・要望	答 弁
三保	森林館は、現在まで材木等が散乱し、ヤマビル発生の可能性もある。 ユーシンブルーを目的とした観光客のために玄倉の町管理の駐車場だけではなく、森林館や薬草園の駐車場を整備し開放する考えは。また森林館と薬草園はいつまで休館なのか、県道沿いにまだ看板も設置されている。今後の対応は。	森林館を含む、休館された町施設利活用の件や駐車場の問題等、観光振興の観点から、今後、丹沢湖周辺を効率活用していくのか、あるいは整理をしていくのか、議会としても町の考えを確認しながら、引き続き協議していきます。
三保	道志村方面の道路交通網整備について平成 29 年度に自治会要望を提出したが、議論した結果、150 億円以上かかるのでできませんと、回答があった。山北スマート IC と道志村の道路がつながれば、交通量が増え、人口増も見込めるのではないか。	委員会で、道志村へのトンネル開通に向けた議論を進めると同時に、去年から道志村の議長・副議長と情報交換を始めました。今後は、双方の議会間で話を進めていく考えです。
三保	三保・清水・共和の山間地域に移動販売車の導入をして欲しい。また移動販売車を導入し、運用する費用を県や国の助成金で補うことはできないか。	移動販売車については、現在議会では取り上げておりません。買物難民対策は重要な課題と考えており、今後取り上げていきたいと考えています。
三保	現在管理捕獲は土日に行われることが多いが、安全性は確保されているのか。	管理捕獲の実施時期について、三保地域はそれぞれの猟区において、地元猟友会の方が保安員となり、土日であっても安全に狩猟ができるように配慮されています。
三保	鳥獣被害防止柵設置助成金の上限10万円は材料費だが、人件費は出ないのか。	この補助金は、材料費と限定されています。1人10万円だが、何人かで集まって利用する方法もあります。人件費は含まれていません。 町の予算では、捕獲に対し1頭3000円の補助金を予算化している。これは、止め刺した猟友会員に入る。今、委員会で問題としているのは、被害を受けている農家にも補助金が入るべきと考えています。
三保 清水 共和 岸 向原	捕獲したイノシシなどの野生動物を解体する処理車両の実験導入とあるが、いつ頃やるのか。県議会の回答は、「29年度は1台しか作らない」です。神奈川県下で1台だと、山北町はいつになるのか。5台とか10台作ってもらい、早く山北町に回していただくよう県に働きかけていただきたい。	ジビエカーは、2t車の中で解体し精肉できる車です。約2000万円で、国が2分の1県が4分の1助成し、残り は利活用する団体が4分の1出すということです。 国の指針として2時間以内に精肉にしないと流通は困難であり、課題は、運営する人、運転して解体や処理ができる人や組織ができあがっていない事です。 県は、2市8町で1台としていますが、1台で県西地域全体をフォローするのは難しいと考えています。 運用上まだ不確定な部分が多く、台数も含め議会としても動向を注視していきます。

町へ伝達する事項

三保	鳥獣被害のサルについて、条例制定している議会もあるようだが、山北町議会としては考えていないのか。また、道の駅には、「サルにエサを与えないでください。」という看板が表示されている。三保地域にも設置して欲しい。	町では、サルについては、追い払い対策しかしておりません。今後、どのようにサル被害対策をしていくべきなのか、委員会で検討していきます。 餌付け禁止の看板は、三保にも設置するよう町に伝えていきます。
----	---	--